

# 耕平さんかわら版

発行編集部

大塚和乎事務所

☎052-757-1955

kouhei@oh-kouhei.org

## 深刻な財源不足

皆さん、こんにちは。立春が過ぎましたが、まだまだ寒い日が続いています。今頃になってインフルエンザも流行っているようです。くれぐれもご自愛ください。

さて、昨年十月十二日、厚生労働省から唐突に障害保健福祉政策の改革案(グランドデザイン案)が公表されました。政府は今国会で所要の法改正が行う方針のようですが、利用者負担増を盛り込んだ改革案の内容を巡って、障害者や福祉関係者の皆さんから多くの問題点が指摘されています。

そもそも、この発端は平成十五年度からスタートした支援費制度です。利用者には好評でした。しかし、好評であるということは利用量が嵩むことを意味します。支援費制度の財政負担は初年度から予算を大幅に上回り、二年目の今年度も既に四百億円近い財源不足に陥っています。

身体障害者三百五十二万人、知的障害者四十六万人、精神障害者二百五十九万人、日本全国で実に合計六百五十七万人。人口の五%、二十人に一人の割合です。誰もが障害に見舞われるリスクがあります。不運にして障害を抱えた人たちを、如何にサポートするべきかという問題は国民が共有すべき課題でしょう。

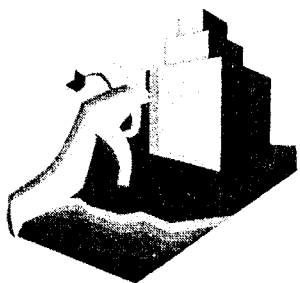
## 見通しの甘い厚生労働省

それにしても、厚生労働省の見通しは甘いですね。青天井で制度をスタートさせれば、利用量が嵩むのは当然です。年金財政の見通しの甘さと共通する厚生労働省の体質を象徴しています。

とは言え、財源不足に陥っている以上、利用者サイドの協力も不可欠です。何らかの工夫で公的支援のスリム化に取り組む必要があります。また、政府の懐具合についてもよく考えなくてはなりません。財源がないといいながら、地

元自治体が反対するような整備新幹線を作ったり、利用者が伸び悩んでいる閑空の二期工事を始め、さらには、伊丹、閑空に続いて神戸空港を作ろうとしています。こうした無駄を省いたうえで、それでも財源が足りないかどうかを破認するのが先決です。

小泉さんはどうも当てにありませんが、厚生労働大臣の尾辻さんは信頼できる人で、尾辻さん、社会保障制度の本改革、期待してますよ！



# 賞王山ゾウゾウエオ

—— 覚王山近辺の名店を続々紹介します！ ——

＜今回は、「書家 山内美鳳」さんです＞

今月号では、これまでと少し趣向を変え、弘法大師ゆかりの地、四国讃岐生まれの書家、**山内美鳳**(やまうちびほう)さんをご紹介します。

山内さんは現在、千種区にお住まいで、筆文字ロゴデザイン、書道パフォーマンス、賞状・命令書などの筆耕全般、オリジナルオーダー作品、筆文字ウエルカムボードなど、**毛筆を使うあらゆる作品作り**に精力的に取り組んでいます。

これまで国家公務員として活躍された山内さんですが、皆様に書を気軽に楽しんでもらいたいと、昨年、書家として独立されました。なんと**書道暦は30年**、書に関する数々の賞を受賞してきた**芸術家**なのです。

目を引いたのは、特許申請中の「**毛筆ネイル**」。指先でいつも書**の作品を楽しむことができるのだ**とか。書と一口に言っても様々なのですね。このコーナーのタイトル文字も山内さんの作品です！ご興味のある方はさっそくホームページをのぞいてみては？

<http://www.naomi-produce.com/>

よ！  
度の抜  
人です  
大臣の  
てにな  
かを確  
れでも  
した無  
を作る  
伊丹、  
の二期  
利用者  
うな整



深刻な財源不足「まずムダ遣いの見直しを！」